党市議団が実施したハガキアンケート

指定ごみ袋 押しつけヤメテ!

～市民の世論と運動を広げよう～

12月議会は、感染症対策にとどまらず、指定ごみ袋が焦点に。議会前実施したパブリックコメント（市民からの意見募集）に過去最多の件数が寄せられたからです。市民の納得も、ごみ減量の目標もないまま、指定ごみ袋の導入だけが先行…何かあるのでしょうか?!

「勝手に決めるな！」市民世論は明白

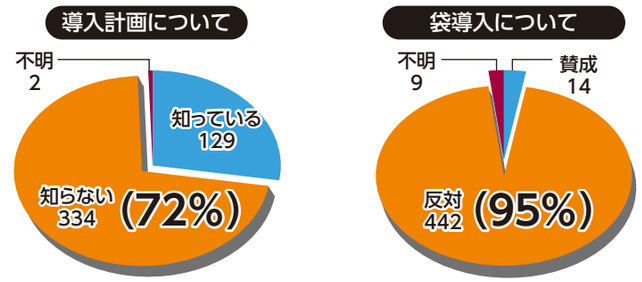
市が行ったパブリックコメントの意見を見ても、ご協力いただいたハガキアンケートの結果を見ても、市民の「指定ごみ袋導入は反対」という意見は明白です。

ところが、議会では『指定ごみ袋の導入延期を求める決議』を否決。市民の怒りがまだまだ届いていないのでしょうか。

「これ以上、負担を増やさないで」

「介護で紙オムツを使っている。たくさんごみ袋を使うから、指定ごみ袋になったらいくらになるのか心配」「公園の樹木から飛んでくる大量の落ち葉の掃除は大きな袋が何枚もいる！」「一人暮らしだから、ごみも少しだけです。市の計画は余計な迷惑です」等々、市民の不安は増すばかり。袋の価格も『市場任せ』のため、ずっと安く抑える保証はありません。市民負担が増えるものを市民の理解無しに強引に導入することは断じて許せません。

党市議団が実施したアンケート（20年11月～12月）



※アンケートへのご協力ありがとうございました。

指定ごみ袋があれば、ルール違反（家庭ゴミ全体の0・5%）はなくなるのでしょうか。

会派	日本共産党				流政会									自由民主党				公明党				市民クラブ			新生令和			
議員名 ○賛成　×反対　－棄権 ※議長は表決に参加しない。	乾 紳一郎	高橋 光	植田 和子	小田桐 仙	坂巻 儀一	渡辺 仁二	野田 宏規	近藤 美保	大塚 洋一	石原 修治	笠原 久恵	森 亮二	青野 直	海老原功一	加藤 啓子	中村 彰男	中川 弘	斉藤 真理	岡 明彦	戸辺 滋	野村 誠	楠山 栄子	西尾 段	森田 洋一	藤井 俊行	菅野 浩考	大野 富生	阿部 治正
感染症対策（医療・介護分野）の強化を求める補正予算修正案	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	議長	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○
医療現場に対する感染症支援交付金の早期支給を求める意見書	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○
指定ごみ袋の導入延期を求める決議	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○

12月議会ダイジェスト

教育 教員残業を正しく把握

「働き方改革」が問われる中、学校管理者による残業時間の過少報告が発覚。市教委は誤りを認め、実態調査をおこない、再発防止を約束しました。

介護 保険料も利用料も値上げ

制度が始まって20年。市の保険料は、基準額で当初月額2,691円から現在5,280円と倍増。さらに来年度には5,740円へと値上げする計画です。日本共産党は、基金を全額取り崩し、値上げを凍結するよう提案しました。

介護事業所の人手不足は慢性化し、コロナ禍のもと倒産も過去最多と深刻です。事業の維持・継続のためには公費による財政支援の拡充が必要です。

経済 固定資産税減税を

「市のテナント支援協力金や国の家賃給付など受けられない自宅でお店等を営んでいる事業者にも支援をしてほしい」「感染症患者を受け入れるために病床を半分以下に減らした。固定資産税も減免してほしい」などの要望を市や国へ届けるとともに、「融資」に固執する姿勢を批判し、市独自のテイクアウト支援なども提案しています。

平和 核兵器禁止条約の締結を

1月22日に発効する「核兵器禁止条約」。ヒバクシャ先頭に、国際世論と運動が、歴史的局面を切り開きました。井崎市長も「歓迎の意」を示しました。